分野		交通安全施設の整備					事業 番号	44	事業名	交通安全施設等整備(歩道整備)				
₫	町村名	安	曇野市	ふりがな 箇所名	(主)த	すずみの 安曇野インター	まりきむせん <b>堀金線</b>		たじり田尻		<b>業年度</b> 年度は見込		年度~	H28 年度
事 区分		事業内容			\$			事業費(千円)			財源内記 国庫 その他		訳(千円)	一般財源
業概	全体	歩道設置工(片側) L=440m W				/=2.5m		330,000			198,000		115,500	16,500
		用地測量 一式、用地補償 一式			式			20,000		12,00	12,000		7,000	1,000
	区分	計価項目・指標等						評 価			<u> </u>		ランク	評点
	必要性	自動車交通量(台/12h)				4,000台以上 500台未満		□ 1,000台以上4,000 台未満			500台以 未満	上1,000台		15
	( 40 )	歩行者交通量(人/日) 自転車・歩行者交通量(台・人/日)			)	歩 100人以上 自歩 150台・人り		□ <sup>40</sup> 人~100人未満 60~100台・人未満 [			3 <sup>40</sup> 人未満 60台・人未満			10
		歩道の連続性			-	連続する		連続しない					_	5
		通学路の指定				指定あり		□ 整備されれば指定 □ 指定なし			•		10	
筃	重要性	小 計 重点施策への位置づけ				国の重点施策で	であ	交通実施	五安全総点検 15	** □ f	立置づけ	けなし		3
	( 10 )	  市町村整備計画への位置づけ				位置づけあり		■ 位置づけなし			С	0		
所			小 計									3		
===	効率性					配慮している		□ 配慮していない				^	5	
評	( 10 )	事業効果(H25年以降残事業年数)				2年以内		■ 3年~4年		□ 5	5年以上		A	3
価		小計									8			
		安全性の確保			幼稚園•保育園	等■	■ 学校・駅等			□ 関連施設なし		С	3	
	( 10 )	事故発生状況 人or自転車×車両			3件以上		□ 1~2件		■ 4	事故無し	/	C	0	
		小 計								3				
		地元からの要望				非常に高い				□ 1			-	10
	計画	用地取得状況				用地ストック有り		■ 関係者中心に周知 □ 周知して			□ 用地ストック無し		Α	7
	熟度	事業情報の共有				関係者以外周知				-		3		
	( 30 )	住民参加の状況 				住民が直接参加	加 ■ 意見を反映			<b>叉映して</b>	いない		3	
	小計			=π						^	23			
					評	価の合	計						Α	77
市	事業実施に至る歴 史的経緯・社会的 背景 当該箇所は堀金小学校に 険な状態となっている。 このため、通学する児童の 事業 中域からの要望経 平成22年10月に交通安全				重の安	全確保するととも	に、交通	通の円	1滑化を図る7	ための道	路の拡	福改良が求	められている。	)
	地域からの要望経 平成22年10月に交通安全総 緯 る。			土心尔	N1大/IEC415、	少坦取	旦Vノ多	<王パ山C4し	~ .⊘° 9	大に田 爪	LENK O'T IP	いべつい女主じ	imc4ι (Λ,	
業周辺	事業説明等の経緯 平成23年度測量設計及び 平成24年説明か井を実施し			び想定をし、地	想定する地権者との意見交換会を実施。 、地権者より概ね了解を得る。									
環	環境・暑観への配			新たた	は周辺土地の改変	変を極力	抑え	た計画法線と	さする。					
境	他事業・プロジェクト との関連 交通安全施設等整備事業に			業にお	おいて、平成22年	度までに	こ小学	<b>全校に接する</b>	箇所につ	いて歩	道を設置した	₹- -		
	特記事項 歩道設置計画の策策			面の策定及で	び定着に向け、今後も地域住民へ丁寧に説明していく。									
地域の合部意見		意形成 □ 全員賛成			□ 概ね賛成		■ 過半数賛成			動向不明	月			
		歩行者が多い通学路であり、安全なな整備が必要である。		よ歩行:	空間の確保のた	め、歩道	道の	行政 改革課 意見	必要性は	は認めら	っれる。			